

若手人材の確保に向けた取組み

【市内企業における若手人材の充足状況】

昨年度、丹波地域人材確保協議会において丹波市及び丹波篠山市の事業所に対し、若手人材の充足状況についてアンケート調査を実施したところ、丹波市内の調査対象事業所117社のうち98社（57%）が「人材が不足している」「概ね充足しているが優秀な人材があれば採用したい」と回答されています。

市内事業所における人材不足が課題となっており、市内商工業の持続的な経済活動の発展と地域の活性化を図るため、令和4年度において特に若手の人材確保に向けた取組みを展開します。

【取組事業の概要】

(1) ふるさと就職奨励金の交付

新規学卒者（高校、短大、専門学校、大学等を卒業してから2年以内にある30歳未満の方）が正規雇用者として市内企業に就職したときに5万円、就職から継続して勤務したときに5万円（計10万円）を交付する。

予算額 750万円（150人分）

申請件数 96件（人）

(2) 小学生対象企業見学会の開催

小学生に市内企業のものづくり技術の高さや魅力を伝えてふるさとの魅力の醸成を図り、将来の若い労働力人口の確保につなげる。

開催予定日 令和4年8月5日（金）

見学予定先 山南地域企業4社程度

参加対象者 市内小学生40名以内

(3) 市内企業魅力発信事業

10月開催予定の産業交流市に出展する企業にスポットを当て、企業の取組みや代表者の思いなどを地元新聞に掲載して企業の魅力を発信する。

(4) 若手社員と高校生の座談会の開催

若手人材の確保に向けて、市内企業で働く若手社員と地元高校生が気楽に語り、市内企業の魅力を発信する。

(5) 企業ガイドブックのウェブブック化

毎年度発行している企業ガイドブックを冊子とともにウェブブック化し、市外に住む若者にも市内企業の情報を発信して地元就職を促す。

